

認知症連携支援・ケアパス ～大分県中津市の取り組みより～



中津市地域包括支援センターいずみの園

認知症地域支援推進員 居倉 央実

(いくらひろみ)

大分県中津市の紹介（位置）



大分県中津市の紹介（観光など）

中津城



福沢諭吉の郷



耶馬溪町「一目八景」



一度食べたあ、忘れられないの…
「中津のからあげ」



他にも、まだまだあります！

中津市の紹介（地域包括支援センター）

高齢者相談支援センター （正式：地域包括支援センター）

市内5か所（市の委託事業）

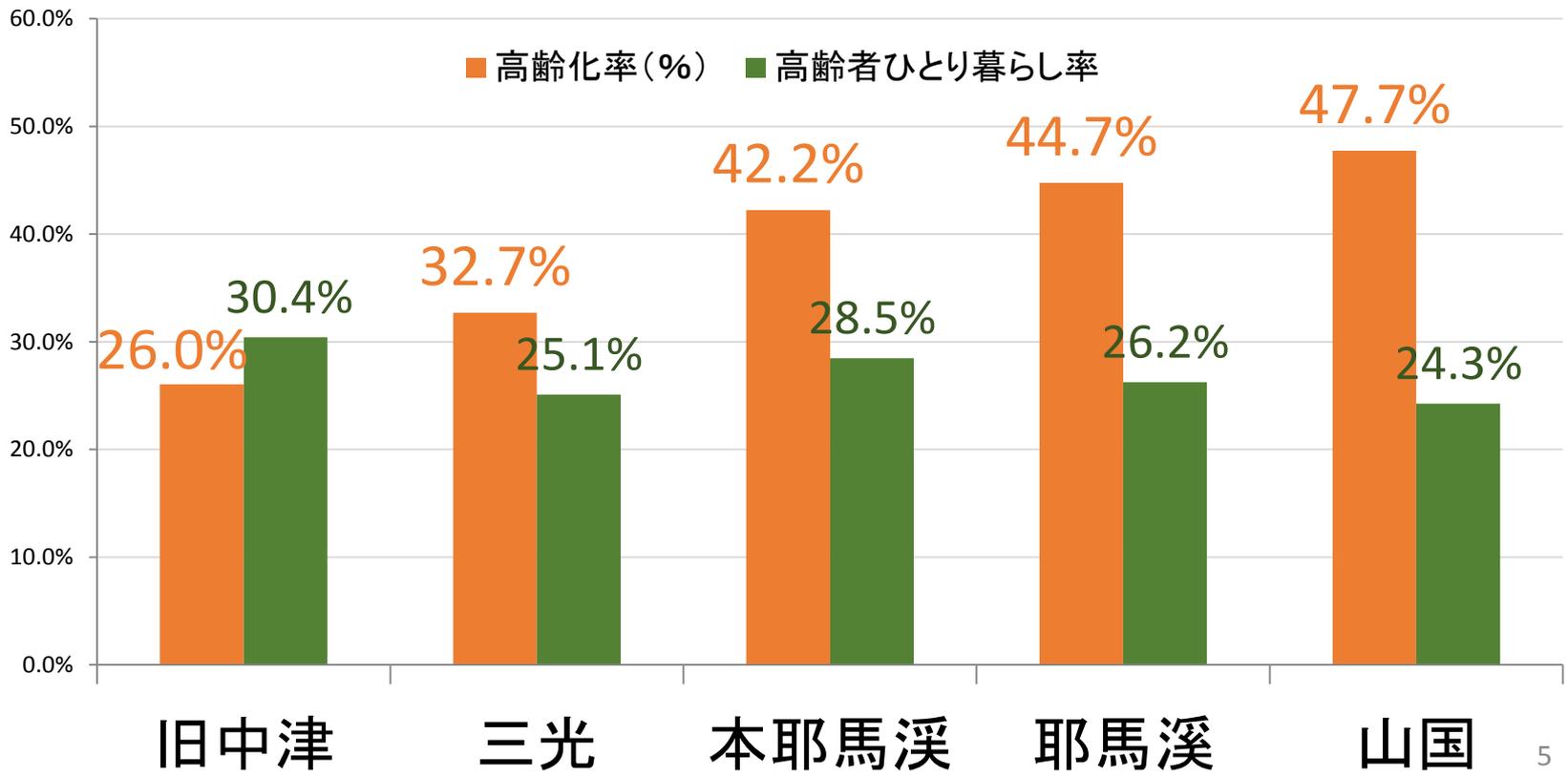
★は、認知症地域支援推進員を配置

名称	担当地域	☎	所在地
高齢者相談支援センター いづみの園	★今津・大幡・如水	62-9000	中津市大字永添2744番地
” 三光園	小楠・鶴居 三保・和田	53-9820	中津市大字永添933番地1
” 創生園	豊田・沖代	24-6015	中津市大字上宮永298番地1
” 村上	北部・南部	23-0833	中津市諸田町1799番地
” 杜協	★ 三光	43-5390	中津市三光成恒421番地1
	本耶馬溪	53-2255	中津市本耶馬溪町折元1247番地
	耶馬溪	26-7585	中津市耶馬溪町樋山路1番地1
	山国	62-3008	中津市山国町守実130番地

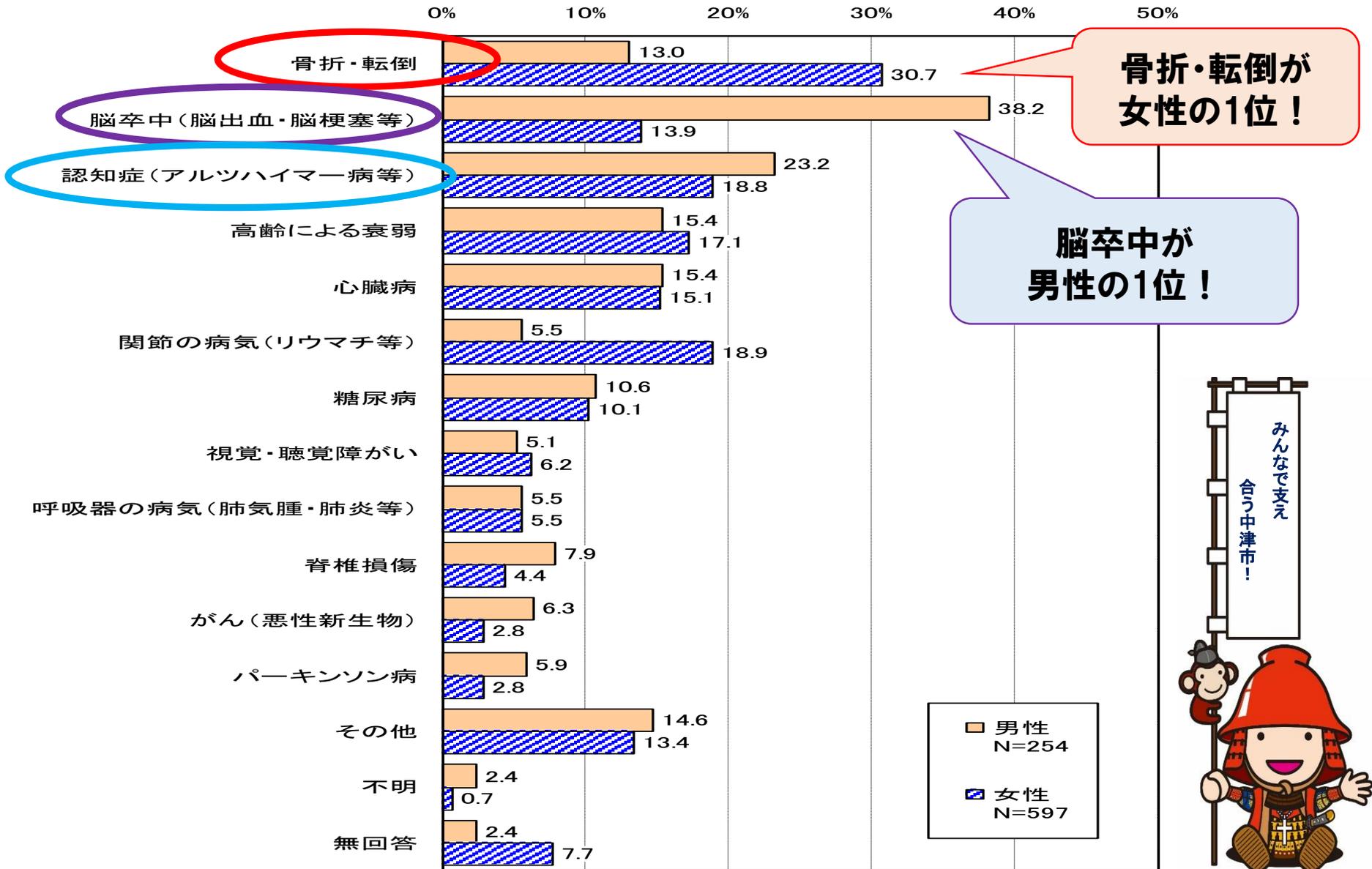
中津市の紹介（高齢者の状況）

- ・ 中津市の総人口 84,777人
- ・ 高齢者人口 24,211人
- ・ 高齢化率 28.6%

平成28年3月31日現在
住民基本台帳より



中津市の紹介（介護・介助が必要となった原因(認定者)）



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

愛と奉仕



since 1978

私を与える水は、その人のうちでいずみとなり、
永遠の命に至る水がわき出る。

ヨハネによる福音書 4. 2-14

それゆえ、**信仰**と、
希望と、**愛**、
この三つはいつまでも
残る。
その中で最も
大いなるものは、
愛である

聖書: コリントの信徒への
手紙 I 13:13

認知症地域支援推進員 事業の目的

「認知症になっても、本人の意思が尊重され、
出来る限り住み慣れた地域での生活を継続でき
る社会の実現」

⇒ 『**認知症支援をキーワードにした地域の各種資源が
有機的に連携できるネットワーク構築**』
行政、医療機関、地域包括支援センター、
介護サービス事業所等と生活支援サービス等の連携

例えば…

- ◆ 認知症の早期発見と適切な支援の結びつき
- ◆ 認知症の人やその家族を支援する地域での居場所作り等

認知症地域支援推進員の活動について

(平成25年度 モデル事業)

認知症施策総合推進事業

オレンジドクター や
かかりつけ医

- ・物忘れ相談と治療
- ・周辺症状へのアドバイス
- ・身体合併症対応
- ・専門医の紹介 等



本人や家族からの認知症に関する相談

相談・連携

相談・支援

相談
・
連携

紹介・連携

相談
・
連携

地域包括支援センター

認知症地域支援推進員

嘱託医



相談
・
連携



相談・支援

各種介護(予防)
サービス

権利擁護の専門家
等

認知症疾患医療センター

支援

- ◆高齢者徘徊模擬訓練
- ◆その他、認知症の普及啓発活動

認知症サポート医

医療・介護の連携

認知症ケアパスの普及

オレンジプラン
「認知症施策推進5か年計画」

- ◆オレンジカフェ
- ◆認知症多職種協働研修(認知症ライフサポート研修)

「中津市認知症ケアパス作成のための 市民ニーズ調査の実施」について

○調査目的

中津市において、「認知症ケアパス」を作成するために実施。

○調査方法

65歳以上被保険対象者1,000人。要支援1・2、要介護1・2、一般高齢者（介護認定なし）に分け、日常生活圏域5ヶ所の対象者を割り当て、うち一般高齢者の調査は、郵送にて実施。

○調査期間

平成25年12月24日～平成26年1月31日

○調査内容

11項目

- ①家族・生活状況について、②運動・閉じこもりについて、③転倒予防について、
- ④口腔・栄養について、⑤物忘れについて、⑥日常生活について、⑦社会参加について、
- ⑧健康について、⑨認知症について

平成25年度

「認知症ケアパス作成のための 市民ニーズ調査」より分かったこと

- 自分や家族について、不安がある。同僚、友人、知人などから

**認知症についての
正しい理解者がまだまだ
足りない！！**

- 市、区、町、職場や地域での認知症に関する
学習会の開催」の機会あることを知らない。
- 認知症治療、認知症予防などの関心は高い。

など

大分オレンジドクター制度について

大分オレンジドクターは、専門の研修を修了した、認知症に関して気軽に相談できる「もの忘れ・認知症相談医」を登録する制度です。

この制度は平成25年1月から始まり、認知症の方ご本人をはじめ、ご家族からの相談もお受けします。

大分オレンジドクター
もの忘れ・認知症相談医

(氏 名)

平成25年1月

大分県 大分県医師会

中津市認知症ケアパス

平成26年4月

中津市認知症ケアパス

～認知症になっても安心して暮らすために～



平成26年4月
中津市介護長寿課

「認知症の人を支える社会資源整理シート」
をもとに、中津市内の社会資源があてはめ
られてる。

- ・ 推進員活動の中で、認知症サポーター養成講座や、認知症カフェの場などで、「中津市認知症ケアパス」を紹介。
- ・ 現在、中津市のホームページからのダウンロードができます。

中津市認知症ケアパス

4. ケアパス一覧表の見方(内容は発症からその進行状況に合わせて適切な支援内容が一覧表として掲載されています。)



	軽度	⇒	中度	⇒	重度
認知症の生活機能障害	認知症の疑い		誰かの見守りがあれば日常生活は自立		日常生活に手助け・介護が必要
支援の内容	物忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成等をきめ、日常生活は自立している		買物や事務、金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している		服薬管理ができない、電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい
介護予防・悪化予防					
他者とのつながり支援					
仕事・役割支援					
安否確認・見守り					
生活支援					
身体介護					
医療					
家族支援			例 中津市地域包括支援センター ^⑳		
緊急時支援 (精神症状がみられる等)					
住まい サービス付き高齢者住宅等					
グループホーム、介護老人福祉施設等居住系サービス					

「認知症の疑い」から「常に介護が必要」の生活機能障害に応じて対応するサービス等が記載されています。

各種支援サービスの内容やお問い合わせ先は「4. ケアパス一覧表各種サービスの内容」に掲載しています。
例えば、中津市地域包括支援センターのことであれば、番号^⑳にその説明がされています。

生活に必要な支援やサービスを分類しています。

この表を参考に医療や介護サービス、その他様々なサービスを検討して下さい。このケアパスと併せて中津市が発行している「中津市認知症地域支援マップ」をご覧になるとよりわかりやすくなっています。
ただ、一番大事なことはまずは相談をすることです。かかりつけのお医者さんや市内にある地域包括支援センターに相談してみましよう！

中津市認知症地域支援マップ 平成26年4月



中津市の認知症の人と家族を支援する社会資源

認知症高齢者 認知症予防に 関して	高齢者の認知症 認知症に関する 相談窓口の紹介	認知サービス 認知・認知対策	介護サービス	福祉的 支援
<ul style="list-style-type: none"> 認知症の症状や 発症のサインや サインが出た ときの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の相談 窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口 認知症の 相談窓口

市内にあるインフォーマルな
認知症の支援資源、福祉施設、保健・医療・福祉連携センター、介護施設を連携した施策 など

中津市内にあるインフォーマルサービスを行うところ

● 認知症高齢者の
認知症の症状や
発症のサインや
サインが出た
ときの対応
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

● 認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口
認知症の
相談窓口

目次	CONTENTS
一言	1~3
中津市認知症マップ	4~5
中津市三光地区マップ	6~7
本郷馬場・郡橋・七尾地区マップ	8~9

地域で支えよう！
安心して暮らせる街づくり。

「地域」づくりと「人」づくりを 中心とした**認知症連携支援**

地域にある社会資源を知り、活かす方法を考える。



認知症の人を支える世代をターゲットにした取り組み
を企画・調整・実施。



認知症の人や家族、地域住民、専門職（医療・
介護）のお互いが学ぶ機会や場と仲間が必要。

連携支援の取り組み

1. 認知症カフェ（オレンジカフェ）の運営

2. 認知症多職種協働研修会の実施

- ・ 認知症ライフサポート研修
- ・ 認知症コーディネーター養成研修（平成28年度～）
- ・ 権利擁護を学ぶ研修や認知症の家族介護を知る講演会の企画、開催

3. 認知症の普及啓発活動と「地域」づくり「人」づくり

- ・ 高齢者徘徊模擬訓練の実施
- ・ 認知症サポーター養成講座の企画（キャラバン・メイト活動）

4. その他

- ・ 「中津市認知症ネットワーク研究会」の活動
- ・ 大分県認知症プロデュース委員会について（平成27年度～）
- ・ 相談支援

認知症カフェについて

「認知症の人と家族、地域住民、専門職の
誰もが参加でき集う場」

本人支援：早期診断・早期介入、本人の自信を取り戻せる
機会として

介護家族：介護知識の習得・介護相談等

地域住民：認知症の知識の普及啓発

専門職：スキルアップや支援者同士のネットワークづくり

認知症カフェについて

中津市では、
認知症カフェを
『オレンジカフェ』
と呼んでいます

オレンジカフェでの目的

認知症の人の生活を途切れさせない
(介護と医療の連携)

⇒ 「認知症の入り口問題」

への介入や解決

「在宅でいまの
生活を続けたい」…



オレンジカフェの機能

- ① 個別の相談支援（本人・家族）
⇒ 医療や介護のアクセスなど
- ② 生きがい支援（本人）
- ③ 家族同士の相談の場（ピアサポート）
- ④ 地域住民の集まる場（限界集落）
- ⑤ 共生社会（子どもと高齢者の交流）



オレンジカフェのスタッフ

市役所の職員

デイサービス(生活相談員)

ケアマネジャー

有料老人ホームの介護職員

福祉用具専門相談員

認知症サポーター養成講座の
受講生

医師



オレンジカフェ

地域包括支援センター職員

社会福祉士

看護師

認知症地域支援推進員

グループホームの介護職員
キッズスタッフ

カフェをはじめる準備

事前準備

- ・ 医師との開催日程調整
- ・ 参加者（お客さん）への連絡調整
- ・ 取り組む内容についての打ち合わせ
- ・ 情報のアセスメント（情報シートの作成）
- ・ カフェスタッフ集め
- ・ 行事保険 など

当日

- ・ 会場設営、カフェ物品の搬入
- ・ ミーティングの司会進行
- ・ カフェ開店中の運営
- ・ 個人情報の管理
- ・ 課題解決の方法の検討 など

閉店後

- ・ 情報集約、情報提供（主治医、担当ケアマネ、包括）
- ・ 後日、電話や個別訪問を行い、経過確認

推進員

オレンジカフェなかつ (ふるかわメディカルクリニック 待合室)



コーヒーを飲みながら各々での会話を



本人も家族も思い思いに過ごす



毎回、約8組が（10～12名ほど）来所。
本人と家族で来られることが多い。

オレンジカフェつきのみき (中津市槻木交流センター)



カフェスタッフのミーティング

Aさんの奥さんは、介護のストレスがたまっていそう。

最期まで自分が夫を看取りたいという思いで介護している。

Cさんは「私は自分は何もできない」と言っていた。

Aさんは生まれの話をしている際はとてもいい表情だった。

介護保険のサービス、もの忘れ外来について紹介した。

カフェ参加者の変化

■本人

- ・ 回を重ねるごとの表情。
- ・ 自分の力を発揮、自信を取り戻す。

■家族

- ・ 安心して話ができる場所。
- ・ 共感しあえる仲間。
- ・ 認知症のいろいろな症状、治療や薬のこと。

■支援者

- ・ カフェを通じて参加者の表情、言動の変化を共有できる。
- ・ 多職種の視点、関わり方への理解。

カフェを通じてわかってきたこと・課題

わかってきたこと

- 「医師からの助言」は、本人や家族だけでなく、カフェスタッフが学びを深められる
- 各カフェでは、参加者によっていろいろな過ごし方を選択できる。
- 困っていることの全てを解決する場所ではなく、必要なところや人につなげる。

カフェを通じてわかってきたこと・課題

課題

- **誰でもが気軽な参加**
⇒来店のサポート、アクセスなど
- **認知症の知識や生活支援に必要な社会資源**
⇒ニーズに応じて対応できるスタッフの育成
- **ボランティアを集める(専門職に加えて…)**
⇒認知症サポーターの事業との連動も

オレンジカフェで目指すもの

本人や家族への
認知症の理解や支援
重視

認知症カフェの機会

医療・介護

認知症の人
家族

地域

行政

認知症の社会的認知と
差別偏見の予防重視

近所（市民）レベルでの
認知症の理解と支援重視

自治体（市町）レベル
での認知症の理解と支援重視

中津市オレンジカフェ開設状況

現在8ヶ所！！

平成26年1月 京都・今出川「オレンジカフェ今出川」研修へ。

平成26年11月 『オレンジカフェフォーラムinなかつ』開催。

同志社大学 教授山田先生、コーディネーター青木氏より「オレンジカフェ今出川」での実践について
基調講演いただく。大分県内の実践事例発表（由布市・中津市）

④『オレンジカフェやまうつり』

平成26年5月 開設
持田公民館、やすらぎ荘ダイルーム



②『オレンジカフェつきのき』

平成26年3月 開設
中津市槻木交流センター



⑤『オレンジカフェやまくに』

平成26年7月 開設
守実公民館



③『オレンジカフェ上東西』

平成26年3月 開設
社協本耶馬溪総合福祉センター

⑥『洞門オレンジカフェ』

平成27年4月 開設
本耶馬溪支所内保健センター



①『オレンジカフェなかつ』

平成26年2月 開設
ふるかわメディカルクリニック 待合室



⑧『オレンジカフェむらかみ』

平成28年1月 開設
村上記念病院
デイケアホール



⑦『オレンジカフェ三光』

平成26年12月 開設
三光福祉保健センター



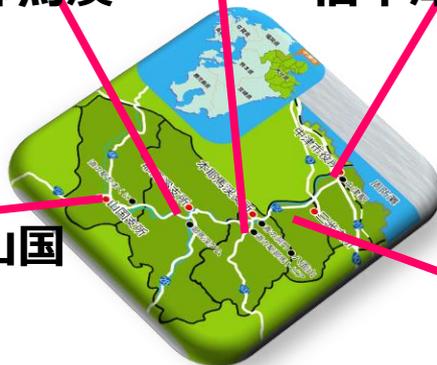
本耶馬溪

耶馬溪

旧中津

山国

三光



中津市の高齢者徘徊模擬訓練

2016 如水高齢者徘徊模擬訓練

平成28年

日時

12月4日(日)

9:45~12:00



集合場所

上如水団地集会所
如水コミュニティセンター

※当日、上記どちらかの集合場所に9:30までにお集まりください。

徘徊模擬訓練の目的

徘徊模擬訓練は、市内の認知症の人が行方不明になったことを想定して、地域のネットワークを活用して、「通報～連絡～捜索～発見・保護」の情報伝達の流れと認知症を正しく理解し、本人の気持ちに配慮して声かけや見守りなどを訓練することです。

※ひとりひとりが認知症の人への対応の仕方を知って、認知症があっても安心して暮らせるまち“中津”のまちづくりを目指して、皆さんもご参加ください!!

認知症の人への
対応心得3つの「ない」
驚かせない
急がせない
自尊心を傷つけない

「あれ? あの人の...」と思う人がいた時の声かけポイント!!

ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから、話かけましょう。急に後ろから声をかけたり、大声で話しかけないよう配慮してください。「こんにちは」、「お暑いですね」など、ごく普通のあいさつから、やさしく声をかけてみてください。

例えば…「どちらまで?」、「何かお困りですか?」、「ひと休みされませんか?」、「何かお手伝いしましょうか?」など

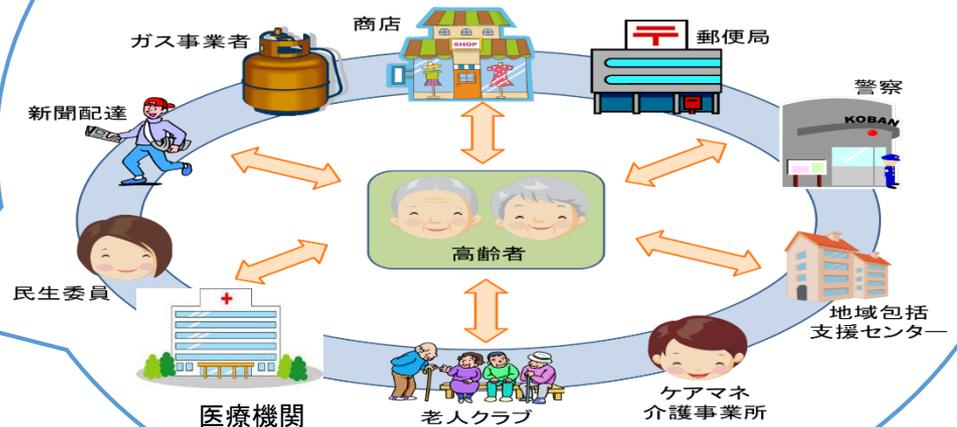


この訓練をはじめたきっかけと継続できている理由について

自治会長の言葉

「この訓練を行うことは、防犯、防災、子どもの見守りの活用できる」

目的は“地域づくり”



【徘徊模擬訓練に関するお問合せ先】

中津市役所 介護長寿課 高齢者福祉係 ☎22-1111 (内線736)

中津市高齢者相談支援センター いずみの園 ☎62-9000

中津市の高齢者徘徊模擬訓練

＜平成28年度の訓練目的＞

1. 行方不明発生時の情報伝達と声かけ搜索
2. 認知症を正しく理解する
3. 搜索機器（GPS）を用いた搜索の検証



中津市の高齢者徘徊模擬訓練

平成21年9月 福岡県大牟田市の徘徊模擬訓練へ（2回の視察）

平成24年3月 大分県で初めての高齢者徘徊模擬訓練を実施。（中津・上如水地区周辺）
その後、毎年開催。

平成25年12月 現在、市内2ヶ所の訓練を実施。

平

「認知症」って関係ない？
自分でもできることはある！

ボランティア部
高校生

サポート医

- ※平成27年10月
- ・『中津市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業』が開始。
⇒中津市、中津警察署、中津消防署及び消防団が協定締結。
 - ・中津市と市内金融機関との連携事業が開始。
⇒中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく金融機関との連携。

例) 高齢者の見守り支援等



認知症サポーター養成講座のようす

市内小学校にて、小学生及び保護者への講座





認知症サポーター養成講座のようす

市内高校（看護衛生科）への講座



地元高校生とのコラボ企画と実施

認知症予防の食事について知ろう！ ～in ハピスマ食堂～

もの忘れのことについて、おいしいご飯を食べながらお話しませんか？

どなたでもご来店できます★
ハピスマランチ食べに来ませんか？

内容

中津東高等学校マーケティング部による
「ハピスマランチ～認知症予防の食事～」
の提供と献立の説明

認知症地域支援推進員による

認知症の相談コーナー
認知症についてのお話(15分程度)
(11:30～、12:30～、13:30～)

中津東高校
マーケ
ティング部



中津市役所
介護長寿課



ハピスマ食堂特別編ということで、
認知症予防の食事を作ります！

お1人様 500円

ハピスマランチ※食数に限りあり※
売り切れ後も14時まで開店しますので、認知症に関
する相談など興味のある方は是非お越しください！

場所
日時

平成28年 **6月19日(日)**

時間：11:00～14:00頃

※売り切れ後も、14時まで開店します。

場所：南部まちなみ交流館
(中津市1828番地)

電話：0979-23-6070

駐車場：地図参照



※当日は、丸善かまぼこさん隣の
村上記念病院駐車場をご利用ください。

企画の話合いでは・・・

「認知症」って聞くと、暗い
イメージがあるらしい。

行政担当者

認知症地域支援
推進員

老人サロンでは、認知症予防
への関心はすごく高い！！

地域社会の重要な課題に関心
を持ってもらいたい！
福祉マインドの醸成の機会と
して呼びかけてみては？

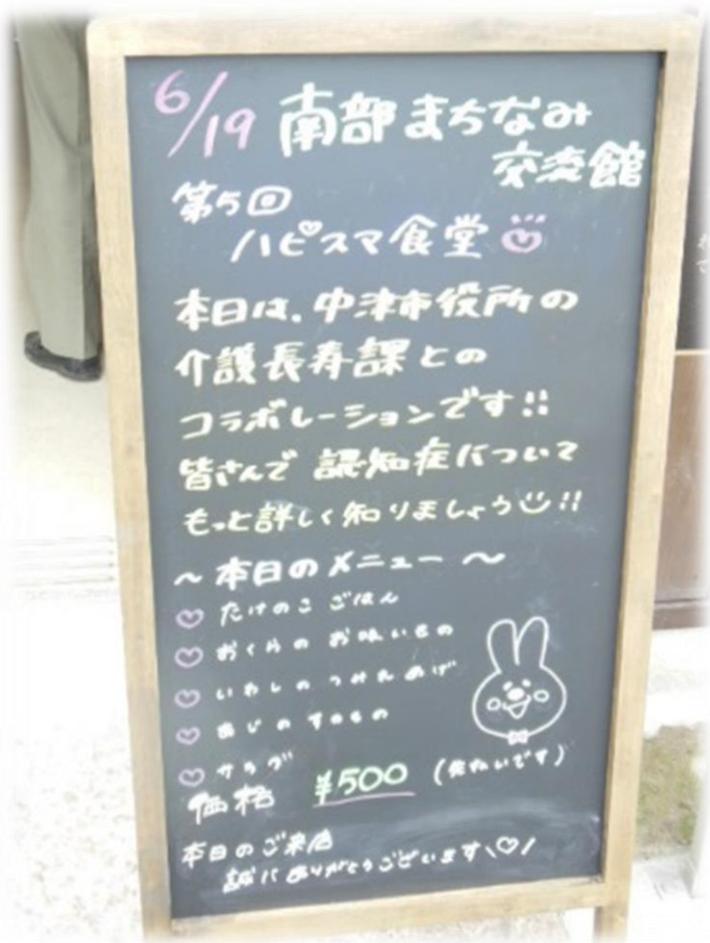
【問合せ先】中津市役所 介護長寿課 高齢者福祉係 川谷 ☎0979-22-1111 (内線737)

中津東高等学校 商業科 岡崎

☎0979-32-3800

ハピスマ食堂のようす

- ①認知症について（認知症地域支援推進員より）
- ②認知症の予防に良いと言われる食材を使ったメニューの紹介を行う（マーケティング部高校生より）



地元高校生といっしょに・・・

- ・ 認知症予防の食事について知ろう！
inハピスマ食堂
- ・ RUN伴2016大分in中津
「ぎょろっけバーガー」販売コーナー
- ・ 認知症サポーター養成講座の提案
- ・ 高齢者徘徊模擬訓練への参加（搜索班）

など

認知症を学ぶ講演会・研修会

認知症の方の権利擁護を学ぶ講演会（平成27年、28年）

認知症の人とその家族の思いを学ぶ研修会（平成27年）

デンマーク 認知症の取り組みを学ぶ講演会（平成28年）

など・・・



認知症多職種協働研修会（認知症ライフサポート研修）

認知症サポート医
オレンジドクター

地域包括支援
センター職員

薬剤師

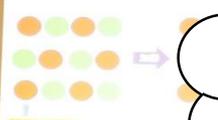
居宅ケアマネ

理学療法士
作業療法士

介護職員

病院・クリニック
スタッフ

(1) 筋線維の組成：
速筋線維の選択的萎縮



中津市認知症コーディネーター養成研修

平成28年度～開始
35名が受講中です。



大分県認知症施策プロデュース委員会

民間企業、マスコミ、警察、教育、医療、介護、行政そして家族と知恵を出し合って検討しています



介護

教育



当事者・
家族



民間

地域

行政

警察

医療
看護



大分県内の認知症地域ネットワーク団体

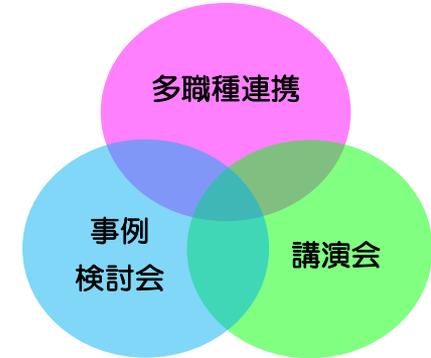
大分認知症カンファレンスの構成（平成28年2月2日現在）



中津市認知症ネットワーク研究会

○設立の経緯

平成23年、認知症対策が急務となることを考え、医師会、介護事業所が顔の見える関係を構築する必要があるということで、有志が集まり「中津市認知症ネットワーク研究会」が設立された。



○中津市認知症ネットワーク研究会の設立の趣旨と事業

- 1・ かかりつけ医と専門医療機関の連携
- 2・ 認知症を正しく理解する
- 3・ 医療と介護と行政の顔の見えるネットワークづくり

当該ネットワークの立ち上げにより、認知症ケアの考え方、医療と介護の顔の見える関係が少しずつ成熟し、現在の認知症施策の事業が円滑に進んでいる。

○主なメンバー 代表者：末廣 朋未 先生（中津市医師会 会長）

認知症サポート医等医師、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員、看護師、市職員等々（20名）

○活動

事例検討会の開催、講演会等

その他、オレンジカフェや多職種協働研修会等さまざまな認知症事業にもご尽力をいただいている。

中津市の推進員活動を通じてわかったこと

強み

社会福祉法人への委託＋専任だからできたこと
⇒柔軟に活動ができる

- 事業メニューの実施の達成
- 行政の協力・理解がある

中津市の推進員活動を通じてわかったこと

弱み

「共に動く人材・チーム・拠点」を 育てる推進の核づくり

- 中津市だけでの完結は難しいケースが多い
- 情報共有や伝達のツールの活用

活動を通じての課題

- 地域課題の解決（医療と推進員の連携）
- 認知症地域支援推進員の質の向上
- 「認知症の人が安心して暮らせる地域づくり」
P D C A サイクルと評価。
- 本人や家族の等の意見の反映

取組みで大切にしてきたこと

- 行政や嘱託医との協働
- フットワークと柔軟性
- 自分自身が中津市民として「将来のために」を考え、事業にかかわること
- 地域づくりを

あきらめないこと + 楽しむこと

ご清聴いただきありがとうございました。

